

表1

平成31年度 定款に沿った事業計画  
平成31年4月1日～平成32年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

## 1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
スポーツ指導者総会、研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研修	7月	50名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送(要検討)	都岳連通信年間2回発送	5月(4・5号) 11月(6・7号)	-	指導委員会
少年少女登山教室	日山協助成金(ジュニアクライミングスクール)	12月	40名	指導委員会
日本山岳協会・指導委員長会議・総会	全国都道府県指導委員長参加の総会(日山協指導委員会常任委員として参加)	6月	1	指導委員会
自然保護委員会Webサイトの運営	委員会行事、自然保護活動の紹介	毎月更新	-	自然保護委員会
自然保護委員会メルマガの発行	委員会行事の案内	毎月	-	自然保護委員会
山の基礎の基礎講座	初心者、ステップアップを目指す方のための講座	年5回	各会15名	企画室

## 2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
トレッキングスクールの実施(マウンテンスクール)	主に登山の初心者に向けて、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	30名	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	12名	安全登山教室委員会
岩登り教室の実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得をめざす。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	30名	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	H28～H29・4 机上6回 実技5回	35名	安全登山教室委員会
マウンテンスクール	安全登山教室各講座を終了し、より高度な登山技術・知識を目指す登山者のための特別講座	7月～2月の間、5回程度開催	10名	安全登山教室委員会
各教室オプション	各教室で学んだ基礎技術の補習、追加講習。	H29. 4～H30. 3 実技12回	10名	安全登山教室委員会
おくたま登山学校安全登山講習会	奥多摩及び他地域での登山を通じ、山・自然の魅力を知るとともに、安全登山の基礎知識、技術の習得を図る	H30・4～H31・3 オプション含め実技最大15回	12名	企画室
講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼にたいして、指導員・上級指導員の派遣をおこなう。	講習会への講師派遣等	未定	安全登山教室委員会 指導遣対部
ハイキングレスキュー講習会	神奈川県山岳SCにて春、秋2回実施	5月(5)、11月(10)	16名	指導委員会
地図読み講習会	奥多摩で春、秋2回実施	4月(23)、11月	30名	指導委員会
トレイルランニング委員会安全走行講習会参加	全6回により、安全にトレイルランニングを楽しむ技術や他者、自然との共存のためのマナーを身につける。	5月～9月	40名	トレイルランニング委員会
日山協安全登山指導者研修会	日山協主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	9月(北海道)	1名	指導委員会
日山協氷雪技術研修会	日山協主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	4月(富士山)	1名	指導委員会
日山協登攀技術研修会	日山協主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	10月(大阪)	1名	指導委員会

深川SC業務受託事業	深川SCクライミング施設の運営管理業務	4月～3月	—	深川委員会
------------	---------------------	-------	---	-------

### 3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の基礎講座	4月～12月 10日間	30名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送、その他メディアから得た情報を基に天気図を描く技術の習得講座	5月 1日間	10名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方講習会	6月～7月 4日間	30名	気象委員会
早春の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	3月 2日間	10名	気象委員会
初冬の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	11月 1日間	16名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月 2日間	40名	気象委員会
気象講演会	安全登山に必要な気候変動や諸現象について学ぶ外部講師による講演会	4月～12月 1日間	40名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会—1	10月	10名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会—2	2月～3月	6名	気象委員会
委員研修会3	気象委員会専門委員の研修会—3	2018年度の奇数月の6回	10名	気象委員会
冬山の気象データ収集	加盟団体等を通して実際に登山した冬山の気象状況を収集し、分析し、広く登山者の冬山の安全登山に資する情報を公開する。	1月～3月	—	気象委員会
初歩のロープワーク活用法①	ハイカー・縦走者向けのロープワークの講習会	4月開催	20名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューに必要なロープワークの講習会	5月開催	16名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山のファーストエイド」	山の事故に遭遇した時のファーストエイドの講習会	6月開催	12名	遭難対策委員会
初歩のロープワーク活用法②	ハイカー・縦走者向けのロープワークの講習会	11月開催	16名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	H31年2月開催	20名	遭難対策委員会
ドローン技術研修会	JRO様のご協力を得て、都岳連救助隊単体での実施	11月30日に実施	10名	救助隊
救助隊研修(無雪期)	パーティレスキューでの救助訓練→積雪期に統一した	積雪期に統一	10名	救助隊
救助隊研修(積雪期)	積雪期救助技術の統一	12月～3月	10名	救助隊
奥多摩開山祭	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(春)と共催	4月	10名	事務局
谷川岳山開き	山開きへの参加と情報交換	7月	2名	事務局
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(秋)と共催	10月	10名	事務局
谷川岳閉山式	閉山式への参加と情報交換	10月	2名	事務局

4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第9回ハセツネ30K	日本山岳耐久レースの入門レースとして、早春の奥多摩を走る大会を開催	4月2日	1500	トレイルランニング委員会
第25回日本山岳耐久レース(24時間以内)長谷川恒男CUP	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていくレースとして大会を開催	10月8日-10月9日	2300	トレイルランニング委員会
モリパーク・アウトドア・アビレッジカップ	昭和の森総合サービスが昭島のモリパーク・アウトドア・アビレッジで開催するクライミング大会の主管業務の受託(年度2回)	5月、10月	160名	スポーツクライミング局
国体選手強化事業	国体選手の強化、育成のための諸事業	4月～12月	不定	スポーツクライミング局
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	不定	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(リード)	都岳連主催、東久留米SCにて開催。第71回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(ボルダリング)	都岳連主催、明治大学和泉キャンパスにて開催。第71回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(スピード)	都岳連主催、昭島アウトドアビレッジにて開催。クライミング競技のオリンピック競技化を想定して、都岳連として他道府県に先駆けて取り組む種目	4月	40名	スポーツクライミング局
IFSCボルダリングW-cup2017八王子大会	都岳連主管、東京オリンピックの準備大会の位置付けで、都岳連役員が多く関わる大会 選手・役員・派遣	5月	不定	スポーツクライミング局
第3回日本ユース選手権ボルダリング競技大会	鳥取県倉吉市 選手・役員・サポートスタッフ派遣	5月	不定	スポーツクライミング局
インターハイ東京都予選	審判派遣	5月	150名	スポーツクライミング局
福井国体リハーサル大会・リードジャパンカップ派遣	福井県 選手・監督・役員派遣	6月	8名	スポーツクライミング局
福井国体関東ブロック大会選手派遣	茨城県 選手・監督・役員派遣	7月	12名	スポーツクライミング局
JOCジュニアオリンピック	富山県南砺市 選手・役員・サポートスタッフ派遣	8月	10名	スポーツクライミング局
愛媛国体派遣	福井県 選手・監督・役員・サポートスタッフ派遣	10月	10名	スポーツクライミング局
関東小中学生選抜クライミング選手権大会	選手・役員派遣	11月	12名	スポーツクライミング局
第7回全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市 選手・役員派遣	12月	8名	スポーツクライミング局
全日本クライミング選手権リード競技大会	千葉県印西市 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	平成31年3月	不定	スポーツクライミング局
全日本クライミングユース選手権リード競技大会2017	千葉県印西市 選手・役員・サポートスタッフ派遣	平成31年3月	14名	スポーツクライミング局
ボルダリングジャパンカップ選手派遣	東京都 選手・役員派遣	平成31年2月	6名	スポーツクライミング局

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
山岳指導員養成講習会	(JSPO資格) 5月～12月 15名	5月～12月	15名	指導委員会
	平成31年はSC指導員は中止です。			指導委員会
SC上級指導員養成講習会	(JSPO資格) 8名	11月～12月	8名	指導委員会
山岳指導者新規認定・更新登録作業	(JSPO資格)	5月、11月	—	指導委員会
新規 日山協 夏山リーダー講習会	(UIAA準拠) 10名	9月～11月	10名	指導委員会

ビレイ講習会	クライミング競技におけるビレイヤーの育成	未定	20名	スポーツクライミング局
--------	----------------------	----	-----	-------------

6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
都岳連Webサイトの運営	毎月数回更新	随時	—	広報委員会
都岳連メールマガジンの発行	6~12回/年	随時	—	広報委員会
広報だよりの発行	毎月1回発行	毎月	—	広報委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。	四半期	—	出版委員会

--	--	--	--	--

7. 登山施設の調査及び設置（定款第4条第7号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
奥多摩地区調査	奥多摩小屋関係	通期	—	

8. 山岳自然保護運動の推進（定款第4条第8号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
グリーンフェスティバル参加	大会で傷ついた自然を大会前よりさらに美しくしてお返ししようとのコンセプトのグリーンフェスティバルへの参加。	4月 10月	—	トレイルランニング委員会
奥多摩小屋廃止問題に関する調査(奥多摩エコプロジェクト)	奥多摩小屋の廃止問題について、登山者の立場から、行政、関係機関に要望を行い、奥多摩小屋周辺の機能維持と環境保全を求める活動。	通年	—	自然保護委員会
カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地である御前山でのカタクリ花株分布調査を実施。シカの食害状況、花株分布の推移状況などから保護活動のあり方の提言へつなげる。	4月～5月	20名	自然保護委員会
カタクリ自然観察会	御前山でのカタクリの分布調査・保全活動に合わせて、一般向けにカタクリの観察会を御前山で実施する。カタクリの分布調査・保全活動を理解してもらうとともに、登山マナー	4月22日	20名	自然保護委員会
クリーンキャンペーン	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓もう活動	6月3日	50名	自然保護委員会
水質調査	御前山での水質の定点調査 高尾山での全国一斉調査の参加	6月3日	5名	自然保護委員会
秋の自然観察会 (山の日関連の観察会)	山の日関連の行事の一環として自然観察会を行う。秋の里山で野生動物の気配を感じる観察会。生物多様性や自然環境保全の重要性を再確認する。船山山岳自然保護指導員資格取得のための机上及び実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	10月14日	20名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会	船上山岳自然保護指導員資格取得のための机上及び実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	6月	10名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会 (ガイド資格者向け)	ガイド向けに、日山協自然保護指導員資格取得のための実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	4月	20名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏・冬)	東京都の最高峰雲取山の食害等の山岳環境調査、山荘・避難小屋のトイレ利用状況調査(夏版)。7月は自然保護指導員を対象に実地研修会も兼ねて実施する。	7月 12月	20名 7名	自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ。はがき版は春号のみ。秋号、臨時号はメール配信で行う。	4月 10月	—	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会	全国各岳連の自然保護委員が一堂に会し、自然保護の課題を討議、情報交換する。	9月	3	自然保護委員会
自然保護指導員研修会、公開講演会	日山協自然保護指導員資格更新及び研鑽のための机上講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽。日山協自然保護	1月	40名	自然保護委員会
おもしろ地球観察会	里山を歩き地形、地質の観察を行い、自然の面白さを学ぶ一般対象の観察会、および啓もう活動	9月	30名	自然保護委員会
委員研修会	自然観察を通して、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する専門委員及び自然保護指導員のスキルアップを図る	2月	20名	自然保護委員会
自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(20名)・更新者(28名)の認定作業	3月	10名 20名	自然保護委員会
山岳団体自然環境連絡会	日山協、労山、日本山岳会などの自然保護部門の連絡会。情報共有と課題解決を	毎月	3名	自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	環境省自然公園指導員の年間活動報告をまとめ環境省に提出	平成30年4月	—	自然保護委員会

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第36回海外の山を知ろう		6月	30名	海外委員会
第37回海外の山を知ろう		11月	30名	海外委員会
高所順応研究会		3月	20名	海外委員会
ソウル山岳連盟との交流事業	日韓山岳会の遭難対策、救助技術の情報交換ならびに交流登山予定	未定	未定	企画室 海外委員会

10. 登山に係る保険・共済事業の運営(定款第4条第10号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
該当事業は無し			—	

11. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第11号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
講習会のリスク管理(安全対策中心)	講習会等での事故事例をまとめ東京都山岳連盟で開催する各種講習会・教室等での事故防止のガイドを作成する。→講習会でのリスクマネジメント資料を配布	12月	—	安全運営管理委員会
倫理に関する勉強会	公益社団法人における活動において求められる倫理行動、不適切な行為を学ぶ→規程とハラスメントに関する注意点等の研修を実施	7月に実施	40	財務部、総務部 安全運営管理委員会

	事業数	累計参加者数
講習会	32	2,694
研修会	20	444
競技会	13	2,798
<b>合計</b>	<b>65</b>	<b>5,936</b>













